

# BIG BEN

- p1 「医」「食」「住」セミナー開催
- p2 写真探訪：ロンドンのコンビニ
- p3 領事便り：NHS からの詐欺メール
- p3 シティ散策ツアー再開
- p4 アンケート結果抜粋
- p5 9 月以降のクラブの活動
- p6 在英邦人数統計
- p7 エッセー：名前こもごも…
- p8 お知らせ 他

## 日本クラブセミナー

# 英国の「医」「食」「住」事情について

日本クラブは7月30日（金）新規赴任者とその家族のため、英国の「医」「食」「住」に関するオンラインセミナーを開催した。参加者は67人だった。

### <英国の医療事情>

先ず、ジャパングリーンメディカルセンターの代表高谷義博医師が英国においては公的医療機関 NHS (National Health Service) と民間医療機関が存在することを説明、NHS は一次医療から高度先進医療まで扱っており、全額無料だが、近所の GP (General Practitioner) に登録することが基本だ。民間医療機関（プライベート病院やクリニック）は全額患者の負担になるが、任意保険でカバー出来ることが多い。

NHS の GP は全国どこにでもあり、登録は外国人であっても居住者であれば無料で登録できる。民間医療機関は都市部に集中しており、高度の専門医を揃えているところが多い。医療関係は言葉が苦手という人には日系の民間クリニックもロンドンには存在する。

事故や怪我、その他の緊急事態の場合には、NHS 病院の A&E (Accidents & Emergency) の窓口へ行くか、救急車（電話 999、携帯電話からは 112）を呼ぶことが出来る。民間の病院でも救急を扱っているところもあるが、あまり多くはない。

英国のコロナ事情はワクチン接種が行き渡り重症患者や死者の数は減っているが、コロナの変異株が出回っており用心したい。



コロナのワクチン接種は NHS のみで扱っており、原則として接種を受けるには GP への登録が必要だ。コロナ検査は症状がある場合は NHS のウェブサイトを経由して検査センターもしくは自宅での PCR 検査を受け、無症状の場合は Rapid Lateral Flow Test (抗原検査) キットを薬局やオンラインで入手して自分で検査することもできる。[Get tested for coronavirus \(COVID-19\) - NHS \(www.nhs.uk\)](https://www.nhs.uk/get-tested-for-coronavirus-covid-19)

### <英国の「食」事情>

続いて日本食材オンラインデリバリー WASO の吉村俊宏代表より、英国における日本食事情の説明があった。



「英国は多民族国家にもかかわらず、各人種に合った食材を見つけづらい課題があります」と前置きして、それでも日本食材に関しては、日系の店を中心に韓国系、中国系の食料品店が日本の食材を扱っているが、日系以外の店では調味料は揃えてあるが、お惣菜は置いていないという説明があった。

魚や肉に関しては、日本人客の多い専門店の中には、刺身クオリティーの魚を揃えたり、薄く切った肉を売っている店もあるが、一般の魚屋 (Fishmonger) やスーパーで売られている魚はいくら新鮮に見えても気を付けた方が良いでしょう。また、肉屋 (Butcher) では顔なじみになったところに細切れや薄切りを頼んでみるのも良いようだ。

(2面へ続く)

もちろん日本食は数ある日本食レストランやラーメン店等で食べられるが、最近では日本人の手掛ける創作パンやうどん、ラーメンも買える。

また、本格的な新鮮な食材が欲しい人にはロンドンには次のマーケットがある。

- ・ 野菜・フルーツ：  
New Covent Garden Market (Battersea)
- ・ 魚： Billingsgate Market (Canary Wharf)
- ・ 肉： Smithfield Market (Barbican)



### <英国の住宅事情>

英国、特にロンドンの住宅事情に関しては、ロンドン各地に支店を持つ London-Tokyo Property Services の専門家から説明があった。

日本からの駐在員の住む地域は、ほとんどが東京でいえば山手線内の地域で、この中にはハウスとフラットがある。Covid-19 の影響で、最近では市内中心のフラットに住むより、郊外の庭付きのハウスに住むことを好む人が多くなったようだ。

日本の駐在員が多いのは郊外では West Acton & Ealing や Finchley Central 地区で、アクトン・イーリング地区は日本人学校や日系の幼稚園、学習塾、医療機関、食材店も揃っており、生活に便利なため子供のいる家族に好まれている。

フィンチリー・セントラル地区は緑溢れる環境で公立学校も充実しており、日系のサービス機関も多い。庭、ガレージ付きの広い家が多く、比較的安全な地域でもある。

市内中心部は通勤に便利なこと、レストランが充実していること等で、若いビジネスマンや単身赴任者に人気がある。

ハウスの生活では防犯に気を付けることが肝心で、ちょっとした外出でも鍵をかけ、アラームを作動させることを心掛けたい。冬場長期間留守にするときには、屋内の電気タイマーを作動させて屋内に人がいる様に見えるのも手だ。ボイラーの凍結を避けるため1日1回はタイマーで動かすことも重要だ。

フラット生活では、換気を良くしてカビが生えないようにすることが重要だ。普段よりこまめに掃除をすることが望ましい。

## 写真探訪 Around London

## 【ロンドンのコンビニ】

東京オリンピック開催中、選手村に開業したコンビニは各国の選手から「便利、何でもある、親切、早い」と好評だったが、コンビニのレジの女性を扱った小説が英語に翻訳されてベストセラーになるなど、今や日本のコンビニは世界的に有名な存在となった。ここロンドンでも、最近では各町のハイストリートや住宅街に野菜から肉類、調味料、ミルクやチーズ、アルコールまで何でも揃えたコンビニ風の店が増えており、早朝から夜遅くまで営業していてとても便利だ。こういった店は General Store と呼ばれ、大抵は移民の人が働いている。80年代、90年代にはほとんどがインドからの移民が営業していたが、最近ではトルコ人やポーランド人が営業している店が多いようだ。(ロンドンのハリンゲーにて 文・写真：加藤節雄)





## NHS からのショートメールを装う 詐欺と思われる事案

今般、在留邦人の方から、ワクチンパスポートの取得に係る詐欺と思われるテキストメッセージを受け取ったという報告がありました。その方がテキストの案内に従うと、氏名、生年月日、住所、電話番号を入力するページに飛び、その後ワクチンパスポート送料の支払いページに飛んだので不審に思い、その後の操作を中断し、事なきを得たそうです。

NHS イングランドのウェブサイトでは現時点で特に注意喚起は行われていませんが、警察当局のサイトではコロナウイルスワクチンに関し、以下のとおりの注意喚起が行われています。

### ● ワクチンパスポートについての注意

- ・ NHS を装った、ワクチンパスポートを提供するといったメールが送られてきたとの市民からの通報が多数に上っている。
- ・ この偽メールは、ワクチンパスポートがあれば自己隔離をすることなく安全に自由に全世界を旅行できると謳っている。

- ・ このメールは、個人情報や銀行口座情報の入力を促すオンラインフォームにつながる。
- ・ このフォームは、NHS のウェブサイトと酷似しているケースもある。
- ・ NHS は、銀行の情報を求めることはなく、ワクチン証明は NHS アプリ、NHS ウェブサイト、NHS への電話照会でのみ取得可能で無料である。
- ・ 英国では、コロナウイルスワクチンは NHS のみで扱われ、無料である。

なお、詐欺が疑われるメールや SMS を受け取った場合には、下記に転送するよう案内されています。

メール：[report@phishing.gov.uk](mailto:report@phishing.gov.uk)

SMS : 7726

詳しくは下記をご覧ください：

Action Fraud, Coronavirus vaccine scam warning

<https://www.actionfraud.police.uk/vaccine>

## 再開されたシティ・ウォーキングツアー

坂次健司さんのガイドによる日本クラブの人気イベントであるシティ散策ツアーがロックダウン解除に伴い1年以上の空白期間を経て再開された。

再開第1回目は、テストケースとして8月7日(土)にシティ中央コースのウォーキングツアーが企画された。ロックダウン明けといっても、まだ変異株が出回っており、定員を通常30名のところ20名に絞り、ワクチン接種後2週間以上経っていること等を条件に募集したが、やはり人気のあるイベントだけに50名強の応募があり、抽選で20名を選んだ。

当日は天候にも恵まれ、坂次講師のユーモアを含めた軽妙な話に2時間半の散策ツアーはあっという間に終わった。多くの参加者から、ロックダウン中は外出もままならず家にこもっていたが、日本クラブがこういうチャンス

与えてくれたことに感謝するというコメントを頂いた。

後日の体調不良者も出ず、先ずテストケースは成功したとみて、日本クラブ

としては英政府の再規制のない限り、今後順次シティ東西南北部ツアーを再開していく予定だ。



# アンケートにご協力頂き有難うございました。

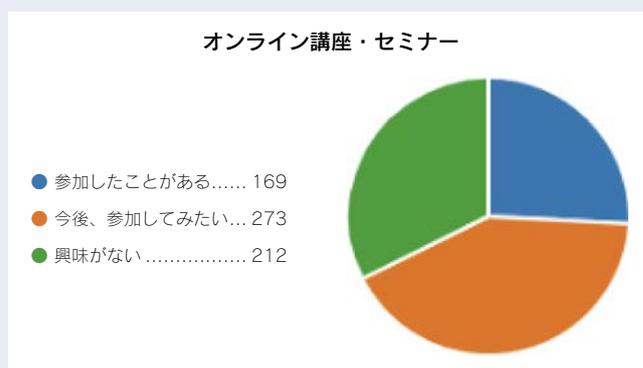
日本クラブでは会員サービスの向上のため、会員の皆様のご意見、ご希望を聴取するアンケート（回答期間 7月2日～18日）を実施しました。その結果 668 人の方から回答を頂きました（回答率は 33%）。設問内容は各種セミナー、ツアー、会員特典、医療サービス、「びっぐべん」、ホームページ等多岐に及び、それぞれの設問に有意義な回答が寄せられました。このアンケートの結果を基にクラブの各委員会で詳細な分析を行い、今後の活動に活用してしていくつもりです。皆様のご協力に感謝いたします。



## ◆アンケート結果概要

日本クラブに対する一般的期待が多く寄せられた。

- 日本クラブは在英日本人全員のものであって欲しい。
- 若い世代の駐在員と永住者が協力しあえる体制を整えて欲しい。
- 20代～30代の方がもっと参加したり恩恵を受けられるようなクラブ運営を検討・実施して欲しい。
- 日本人コミュニティーを活性化させるためより多くのサービスを期待する。
- 安い費用で参加できる教養講座や企業主催の講座等を増やして欲しい。
- 診療所が閉鎖されたのはとても残念。
- 個人情報掲示板の充実、GP 情報、地域公立中学校の評判、ロンドン便利帳の復活
- 図書館の開設、リサイクルバザー、物産展などのイベント企画。
- Japan Society、Japan House、JCCI など類似の活動を行っている組織との連携や行事の共催。



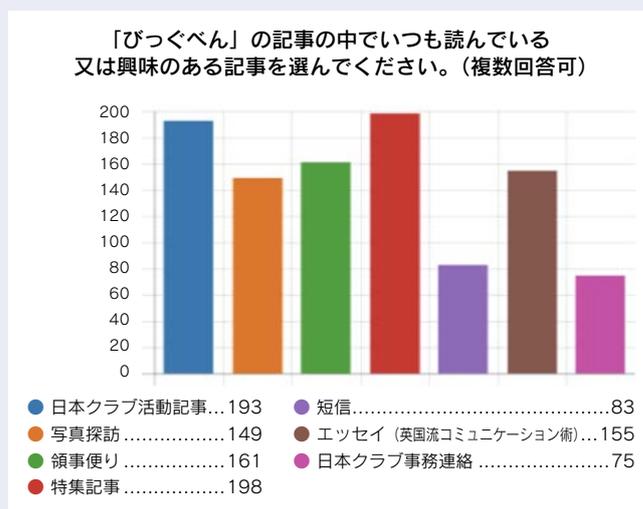
## ◆クラブのサービス活動に関して

オンライン講座・セミナーへの参加に関しては、「参加したことがある」と「今後参加したい」という人が全体の 68% を占めた。参加者の満足度は、「満足」と「どちらかと言うと満足」が 98% と高評価を得ていた。

会員証提示による会員特別割引サービスに関しては、「利用したことがある」が 11%、「今後利用したい」が 49%、「興味がない」が 40% だった。また、どの分野のサービスを充実して欲しいかという問いには、飲食、ショッピング、医療、歯科などがあげられた。

「びっぐべん」に関しては「毎回必ず読む」と「読むときもある」を合わせると 60%、「知らなかった」は 20% だった。また、「いつも読んでいる記事、興味のある記事」の関しては下段のグラフ参照。

ホームページに関しては、「閲覧したことがある」が 51%、「閲覧したことがない」と「知らなかった」を合わせると 49% だった。



# 短 信

COMMUNITY PLAZA



## ティモシー・クラーク氏 旭日小綬章受章

元大英博物館アジア部日本セクション長ティモシー・クラーク氏 (Timothy Clark、60歳) が令和2年の春の外国人叙勲で旭日小綬章を受章した。クラーク氏は1987年に大英博物館に入館し、日本コレクション担当学芸委員としてHokusai; Beyond the Great Wave展をはじめ数多くの日本関連特別展、講演会等の日本関連企画を精力的に実施し、世界規模で日本文化・芸術の理解促進に寄与してきた。氏は現在でも大英博物館名誉研究員として活動している。コロナのため延期されていた表彰状の伝達式は7月12日(月) ロンドンの日本大使公邸で行われた。(写真①日本大使館提供)

## 大英博物館 北斎の 『万物の偉大な絵本』展

北斎の珍しいドローイングを集めた展覧会が開かれる。1820年代から40年代にかけて描かれた北斎の103点のドローイングは版画集『万物の偉大な絵本』として刊行されるはずだったが、理由は不明ながら出版されることはなかった。北斎の筆によるドローイングはインドの仏教、古代中国から自然界に至るまで幅広く、緻密な北斎スタイルと卓越した技術を良く表現している (写真②)

● The Great Book of Everything  
9月30日(金) ~ 2022年1月30日(日)  
The British Museum Room 90  
入場料: £9.00

## Royal Academy Summer Exhibition 2021

昨年から今年にかけてコロナ禍のために、ほとんどのアートギャラリーが閉鎖されていたが、ロックダウン解除に伴い徐々にではあるが通常に戻りつつある。今年第253回目となる毎年開催される世界最大の公募展と言われるロイヤル・アカデミーの夏の展覧会は今年は遅れて9月から開催される。世界中から15,000点の応募があり、1,200点が選ばれて展示される。(写真③ Eddy Kamuanga 作品)

● Summer Exhibition 2021  
9月22日(水) ~ 2022年1月2日(日)  
Royal Academy of Arts  
Burlington House, Piccadilly  
入場料: £20.00 ~ 22.00

## 9月以降の日本クラブの活動

英政府によるロックダウンの規制解除に伴い、日本クラブの活動も要注意という条件付きながら徐々にではあるが、通常に戻りつつある。

すでにゴルフアカデミーは緑豊かなアクスブリッジのStockley Park GCで開催されているし、英語教室はオンラインレッスンに加え、会議室での対面式レッスンが9月13日(月)より始まる。



ゴルフアカデミー

坂次健司さんのガイドによるシティ散策ツアーはすでに再開され (P3参照)、これからシティの東西南北部へのツアーも予定されている。

毎年行われているバスツアーは、今年は中止されたが、来年は再開される見込みである。クリサンシマムカップ・ゴルフ対抗戦は10月3日(日)にメイドンヘッドGCで開催される予定。恒例のハマースミス公園日本庭園の清掃作業は、今年は10月10日(日)に開催されることが決まっている。

クラブサロンの会議室の貸し出しも再開され、こ



日本庭園清掃作業

れからセミナーや会員主催の講座などが復活していくものと思われる。長期にわたるコロナ禍の中、日本クラブは閉鎖することもなくオンラインで活動を続けてきたが、ここに来て長いトンネルの出口が見えてきた感があり、再び皆さんが集まれる楽しい活動が可能になりそうだ。

# 英国在留邦人数 63,030 人

## 昨年より 3,162 人減少

外務省は毎年 10 月 1 日を基準日として海外在留邦人実態調査を実施しています。各国・地域の在留邦人数は在留届を基に集計します。英国で在留届を提出していない方や、既に帰国・転出・転居されていながら変更届を提出していない方は、提出をお願いします。

本年についても昨年と同様に全世界と比較した英国の在留邦人数をご紹介します。＜令和 2 年(2020 年) 10 月 1 日現在＞

なお、詳しくは外務省ホームページをご覧ください。  
[www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html)

英国在留邦人数

	令和 2 年	令和元年
総 数	63,030	66,192
長期滞在者	37,792	41,523
永 住 者	25,238	24,669

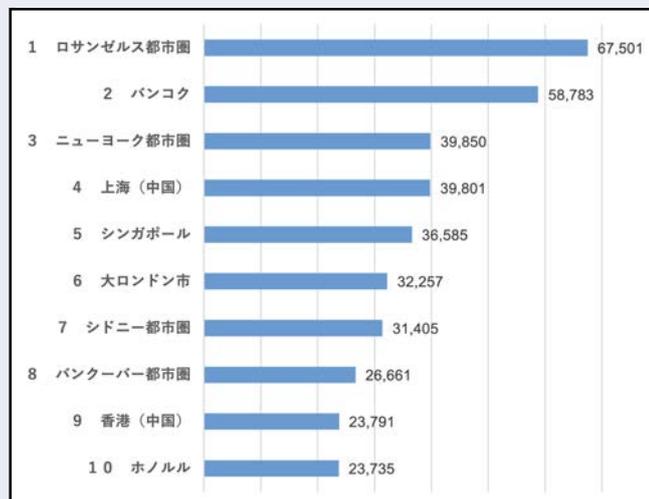
国別在留邦人数推計上位 10 位

順 位	都市名	人 数
1	米国	426,354
2	中国	111,769
3	オーストラリア	97,532
4	タイ	81,187
5	カナダ	70,937
6	英国	63,030
7	ブラジル	49,689
8	ドイツ	41,757
9	韓国	40,500
10	フランス	37,134

邦人の分布比率

イングランド	95.40%
スコットランド	2.77%
ウェールズ	1.35%
北アイルランド	0.30%
その他の諸島	0.18%
(大ロンドン市)	51.00%

都市別在留邦人数推計上位 10 位



都市別在留邦人数推計上位 10 位

順 位	都市名	人 数
1	ロサンゼルス都市圏	67,501
2	バンコク	58,783
3	ニューヨーク都市圏	39,850
4	上海 (中国)	39,801
5	シンガポール	36,585
6	大ロンドン市	32,257
7	シドニー都市圏	31,405
8	バンクーバー都市圏	26,661
9	香港 (中国)	23,791
10	ホノルル	23,735

(資料提供：在英国日本国大使館)



## 名前こもごも…

自己紹介をする際に、まず相手に伝えるのは名前でしょう。その名前が覚えやすいものであればいいのですが、長くてさらに英語の音の中では発音しにくい場合には、例えば、健一郎さんは、‘Please call me Ken’ など、短めの呼び方を自ら提案するのではないのでしょうか。最近、親の方が気を利かせて、将来世界でも通じる名前を子供につける傾向にあります。

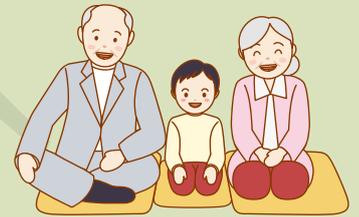
私の名前はそう長くはないのですが、言いにくそうな人が近所にいたので、「花のマリーゴールド ‘Marigold’ と覚えればいいですよ」と言ったばかりに、以後正しい名前では一切呼ばれず、ずっと「マリゴールド」となっていました。「呼び名の後半はよけいなんだけど…」といつも落ち着かない感じですが、自分から言い出したことなので、納得しています。ただ、これの良かった点は、アクセントです。最初が強く読まれるので、日本語的に聞こえます。

というのも、「マリコ」と言ってくれても、大抵は最初のマが弱く、真ん中のリにアクセントがあるため、一瞬「リコ」と聞こえ、自分が呼ばれていると思わない時があるのです。こちらのバージョンは、私がそう発音してと頼んだわけではないのですが、英語の音体系の中で、勝手に変更されて定着したケースです。

英語名では、時に親子で同じ名前のこともあり、その場合には、「シニア」「ジュニア」などが付けられたり

しています。それがなくても、夫を呼ぶ時は「ジョン」と呼びつける口調で、息子の方は「ジョン」と少し優しいトーンとか、まあ、この辺りは家族関係によって微妙に区別され、不思議なことに混乱していないようです。

さて、本当の自分の名前ではなく、家族や親しい人によって特別な呼び方が使われていることがあります。我が家では、まだ口の回らない子供が、「おじいちゃま」「おばあちゃま」と言えずに、「おじま」「おばま」と発言したため、孫にどう呼んでもらおうかと思案していた両親の悩みも一気に解決したのです。



恐れながらの ‘Lilibet’ 問題ですが、これはエリザベス女王が幼いころに自分の名前をよく言えず、こう言ったことから、家族の中で親しみを込めて使われていた大切な名前です。エジンバラ公が亡くなられた葬儀の際、サインしたカードにその名が使われていたことから、この愛称がいかに親密な思いを込めたものであったかが、うかがい知れます。その名が、ハリー王子とメーガン妃の長女に命名され、事前に女王の承認を得たかどうかで、大騒動となったわけです。

いずれにしても、そう呼んで良いかどうかは、自らが許可を出すか、相手に許可を求めてから使う方が、後々の問題を防止できます。

## 規制解除で戻るか英国の通常生活

英国では去る 7 月 19 日にコロナウイルスによるロックダウン規制が解除され、オフィスをはじめ、商店、パブやレストラン、劇場やクラブも通常通りのオープンとなった。国内旅行も解禁となり、観光地はどこも盛況だし、プレミアリーグのサッカーも開始され、どのサッカー場も満員の観客で沸いている。徐々にではあるが、我々の生活は通常に戻りつつあるように見える。

しかし、表面的には全てが順調でコロナ禍はすでに終わったかのような印象を持つが、デルタ株は未だ蔓延しており、新たにラムダ株の感染も危惧されている。商店では入口に消毒スプレーを置いているところも多いし、

ロンドンの地下鉄やバスではマスク着用は未だに必須となっている。

ワクチン接種の進んでいる英国では、死者や重症患者がある程度抑えられており、今のところ NHS 病院への負担はひっ迫していないが、感染拡大状況によってはいつまた規制が戻ってくるか誰も分からない状態が続いている。

規制により疲弊した国民のメンタルヘルスの回復と、規制解除による感染再拡大の可能性、どこの国の政府も解決策を模索中だが、英国も綱渡り政策の現状が続いている。  
(加藤節雄)





## 日本クラブ新規加入の 法人会員

◆ WASO LTD



## メールアドレス登録を

日本クラブでは会報「びっぐべん」「英国ヘルスケア通信」をはじめ、各種催し物案内、会員の役に立つ情報等をお知らせメールで配信しています。ロンドン生活のための貴重な情報を逃さないためにもメールアドレス登録をお勧めします。アドレス登録は、

[oshirase@nipponclub.co.uk](mailto:oshirase@nipponclub.co.uk)

に、お名前と会員番号をメールするだけで出来ます。また、会員であれば家族を含めて個人個人のアドレスを登録出来ます。



## 日本クラブ・ゴルフ同好会

◆月例会：開催中

◆会 場：Maidenhead Golf Club

◆問い合わせ：☎ 07956-551363 (外山健二)

[kenjitoyama787@gmail.com](mailto:kenjitoyama787@gmail.com)

随時入会受付中(申し込みはHPから)



## 日本クラブ・ブリッジ会

◆例 会：毎週木曜日(11:30am 開始)

◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ

<http://ycbc.co.uk>

◆問い合わせ：[holbourne.sachiko@gmail.com](mailto:holbourne.sachiko@gmail.com)

見学者歓迎



## 日本クラブ・グリーンコーラス

◆練習日：毎週月曜日(10:15 ~ 12:30)

◆会 場：Trinity Church, Golders Green

◆問い合わせ：

[londongreenchorus@gmail.com](mailto:londongreenchorus@gmail.com)



## 日本クラブ囲碁会

◆例 会：毎週土曜日(14:00 ~ 20:00)

◆会 場：Inn of Court Pub

地下鉄 Chancery Lane Exit 3より直進2分

◆問い合わせ：☎ 07956-594040 (田中)

[tanaka@gokichi.org.uk](mailto:tanaka@gokichi.org.uk)

## クラブサロンのご利用について

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。



地図はホームページ ([www.nipponclub.co.uk](http://www.nipponclub.co.uk)) の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

\* 現在、英国政府のロックダウン解除にともない、会議室の貸し出しを再開しております。是非ご利用ください。

### ● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490

Email : [jimukyoku@nipponclub.co.uk](mailto:jimukyoku@nipponclub.co.uk)

## ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- ◆ 運動会・文化祭などの行事
- ◆ 整った学習環境
- ◆ きめ細かな進路指導・進路講演会
- ◆ 英会話や英語活動
- ◆ 英語検定や漢字検定の実施
- ◆ 現地校との交流
- ◆ 放課後の楽しい部活動(5年生以上)
- ◆ 通学バス利用可



## ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語(日本語)の勉強をする「サタデースクール」です

- ◆ 毎週土曜日午前中授業
- ◆ 授業回数年間約40回
- ◆ 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- ◆ 小・中学部・高等部(学習指導要領に準じたカリキュラム)
- ◆ 日本語科(日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒を対象に7クラス設置)

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

## 会員の皆様へお願い

日本クラブは、2021年10月より新年度に入ります。

昨年10月以降英国の永住権を取得した方、永住者で60才となられた方(9月30日までに満60歳になる方を含)は、会員区分を変更しますので、9月20日(月)までに永住権及び年齢の証明書(コピー)を事務局にご提出ください。既に変更された方は提出していただく必要はありません。インボイス発行後のカテゴリー変更不可、発行後の変更は翌年の請求からとなりますのでご了承ください。新年度の更新を希望しない方は9月20日(月)までに、9月30日付の退会届を提出してください。

ご住所を変更された方は、住所変更届をご提出ください。ご質問・ご不明な点がある方は事務局にご連絡ください。

連絡先 [m.konotsune@nipponclub.co.uk](mailto:m.konotsune@nipponclub.co.uk)

020-7921-9490 担当：此常(このつね)

◆ 2022年度会費請求のお知らせ(2021年10月~2022年9月)  
個人会員には10月初めに新年度年会費請求書を送らせて頂きますので、デビット・クレジットカード(電話受付可・Amex Cardは除く)、又は銀行送金(インボイス番号入力必須)にてお支払いくださるようお願いいたします。上記の支払いが難しい方は小切手でも受け付けます。

法人会員正会員は10月初旬に法人会社毎に纏めて請求致します。